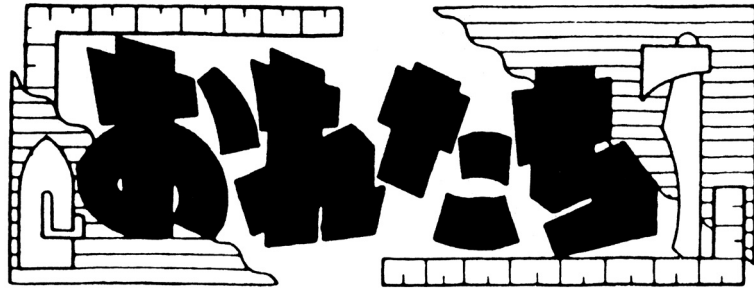


### 無料法律相談日の案内

11月15日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

10月初組合員数=1,998人(+13人)



発行所  
東京土建一般労働組合荒川支部  
東京都荒川区荒川6-3-1  
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381  
発行者・豊田佳二/編集長・川又好一  
http://www.doken-arakawa.org/

### 秋の拡大行動日程

第6次行動日

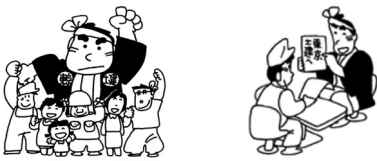
10月15日(火)・16日(水)

第7次行動日

10月22日(火)・23日(水)

第8次行動日

10月28日(月)・29日(火)



まだ暑さが残っているのでタオルを首に巻きながら組合訪問

## 組合員訪問が基本です 秋の拡大月間も終盤へ

【日暮里一・川又好一記】私達の日暮里一分会では加入している所属事業所が少なく、個人の方々が主力の分会です。そして、組合員の高齢化も進んでいて、若い組合員を拡大する事が必須となっています。秋の拡大においては残念ながら目標を達成できず、

樁分会長も分会執行委員会で危機感を訴えていたことが、一朝一夕に結果を出すことも出来ません。分会としても、過渡期のような難しい時期に来ている節もあります。

先月末に、月末というところで事業所に居るだろうと予測して、組合内事業所廻りの行動をおこない、8社を訪問しました。廻って見ると意外に不在が多く、「午前中なら居ましたよ」とお隣さんからの返事。それでも、2社の事業所の方と会話が出来ました。

昨年より、分会には拡大で新たな活躍をしているヒーローが現れています。拡大に使命感を持ち、飛び込みに喜びを共有し、ローラー作戦や現場訪問、何処でも出かける凶太さが売りの3者3様の3人衆。我が分会には、「陰のヒーロー」がまだ大勢います。みんなが情報を交換し、力を合わせて結果を出したいです。

| 分会   | 2013年1/1付現勢 | 月間目標 | 成果(10/4現在) | 10/1付現勢 | 1/1付増差 |
|------|-------------|------|------------|---------|--------|
| 西尾久  | 272         | 12   | 4          | 266     | ▲6     |
| 東尾久1 | 117         | 5    | ★7         | 115     | ▲2     |
| 東尾久2 | 178         | 8    | 3          | 179     | 1      |
| 荒川   | 268         | 12   | 5          | 261     | ▲7     |
| 町屋北  | 186         | 8    | 0          | 187     | 1      |
| 町屋南  | 169         | 7    | 1          | 164     | ▲5     |
| 日暮里1 | 151         | 7    | 4          | 141     | ▲10    |
| 日暮里2 | 187         | 8    | 4          | 188     | 1      |
| 南千住  | 178         | 8    | 3          | 177     | ▲1     |
| 事業所  | 116         | 5    | 1          | 123     | 7      |
| 直属   | 183         |      | 3          | 197     | 14     |
| 合計   | 2,005       | 80   | 35         | 1,998   | ▲7     |
| 主婦の会 | 407         | 25   | 11         | 379     | ▲28    |
| 青年部  | 70          | 5    | 4          | 59      | ▲11    |
| 荒友会  | 163         | 16   | 3          | 159     | ▲4     |

## 効果絶大のハガキ要請

### 国保補助金獲得のためのたたかい



上が崎山都議、下が鈴木都議

【社会保障対策部】私たちが加入している東京土建国保の建設国保は、私たち建設業の実態に最も適した保険制度です。運営は、私たちが納める保険料収入と国、東京都からの補助金でおこなわれています。補助金獲得のハガキ要請の取り組みは、7月及び8月が厚生労働省宛、9月及び10月が東京都宛、11月及び12月は財務省宛と続きます。もちろん、都議会議員に東京都からの補助金確保のための賛同署名を頂いたり、予算要求集会も7月と11月におこなっていますが、皆が出したハガキの力が大きく生かされています。届いたハガキは山積みされ、担当者1枚1枚点検していただきます。昨年の取り組みの結果、今年度の東京都の補助金は、前年度に対して満額水準確保をできました。補助金獲得により予算を確保し、国保制度を維持することは加入者の維持と母体である労働組合の加入者維持や増加につながり、共済制度や組織力の強化にもなります。加入問わず協力を。

### 土建国保でいつでも安心



並木義男さん(荒)

数年前から、国保を利用した健康診断や消防団の健康診断で、高血圧と心臓の不整脈があるとの結果が続いて出ました。日常生活では自覚症状はまったくなく、荒川生協診療所の主治医からは「若くないのだから、とりあえず薬を服用していきましょう」と言われました。巨人の長嶋監督と

同じ病気で心臓で血栓ができてやすく、血栓が心臓で詰まれば心筋梗塞に、血栓が心臓から出て脳で詰まれば脳梗塞になるとの診断です。心電図、心エコーの検査をしましたが、念のための精密検査で循環器病院を紹介されました。日帰り入院で心臓カテーテル検査を受けましたが、結果は異状は認められないとのことで一安心しました。先日、医療費の戻りが口座に振り込まれました。安心して病院に行けるこの国保の制度、はがき要請の力で改めて感じました。

## ひぐらし

ノースカロライナ州で1961年1月23日、B52爆撃機から水素爆弾が地上に落下して、爆発寸前だったことが分かった。機密指定が解かれた公文書情報公開法にて入手した文書で明らかになったと、9月21日付の英紙ガーディアンが伝えた。この水爆は広島型原爆の260倍の威力があり、爆発していれば首都ワシントンなどの広範囲に死の灰が降り、数百万人の命が危険にさらされる大惨事になった可能性があると言う。

▼NHKの朝ドラ「あまちゃん」と、TBSの久々のヒットドラマ「半沢直樹」の両番組がともに9月末で終わった。「じゃじゃええ」と「倍返し」の流行った台詞は、流行語大賞の有力候補とされている。  
▼9月22日、韓国人の男が靖国神社に放火目的で侵入し、逮捕された。最近の韓国では、靖国神社に「いたずら」することがちょっとしたブームになっているらしい。靖国神社は警備体制も強化しているというが、植民地時代に日本軍属・軍人として出征した朝鮮の方たちも祀られているため、韓国には強く出られない事情もあるらしい。  
▼戦争は当然だが、悪ふざけで「やられたら、やり返す、倍返しだ!」といった冗談は勘弁であることを願う。その時は「じゃじゃええ」では済まない。(虎)

# 地元企業から確認書

## 賃金行動とPALの会学習・懇親会

### 現場訪問で 確認書獲得



現場監督に要請内容を説明

問題学習、現場訪問の要請項目の説明などを行ない、午後4時に4班に分かれ、14ヶ所の現場と地元企業4社を訪問しました。今回の行動の主な要請点は、①公共工事設計業務単価の引き上げがあり、現場従事者の賃金や単価の变化有無確認、②社会保険未加入問題、③建退共の加入促進、④若年従事者の減少問題等で懇談しました。

現場訪問では、アポイント無しでも8現場で懇談ができ、要望書を渡しました。懇談の中で、職人の賃金は上がらず、単価は上がりはじめており、資材も上がってきている。公共工事現場(3現場)では、建退共をきちっと説明して履行している。また、現場アンケートはいくつかの現場で、対応可能になりました。この行動の中で、確認書(労働安全等)を新たに2現場でいただきました。

地元企業訪問は、3社(武元建設(株)、(株)藤工務店、三和建設(株)東京本社・24日)と懇談できました。区発注工事のあり方、JVのあり方、単価・賃金について懇談し、この中で単価は上がってきている、特に人手不足の型枠や鉄筋は大きく引き上がっており、自

## しつで親睦交流深める

### 事業所分会&荒川分会

#### 箱根の湯を楽しむ

【事業所・八木橋郁子通信員】昨年からはじめた事業所分会のバス旅行、今年は9月29日(日)に大人13人、子供11人の参加で箱根小涌園ユネッサンスへ行きました。

往きのバスの中では自己紹介をし、自己紹介の最後に好きな食べ物を1つ添えてもらい、当ててもらった簡単なクイズをしました。子



供達も自己紹介の声に耳を澄ませて聞き、クイズで盛り

温泉入っておいしい食事で皆笑顔

帰りのバスの中は、ビンゴゲームで盛り上げた後、ビデオ鑑賞をしながら無事に支部事務所に着く事ができました。今後、普段は交流が難しいのでイベントで親睦を深めていきます。

治体工事での社保未加入対策は、受注企業だけで下請けまでは今のところ厳しくは無いとのことでした。三芳建設(株)は会議中でしたので資料・確認書を預け、後日に確認書をいただきました。行動には、延べ16人が参加、総括会議の後に町屋駅前「賃金UP」のチラシを配布しました。

### 賃金引き上げの チャンス



現場の情報提供を訴える

9月4日、支部3階にてPAL会員など25人が参加し、学習・懇親会を開催しました。豊田委員長の挨拶の後、講師の本部・溜口さ

#### ダンスで皆ノリノリに

##### 【荒川・磯部正三通信員】

今年も例年通りの9月第一日曜日の9月1日に、分会恒例の東京湾クルージングのレクリエーションがあり、私も楽しく参加してきました。当日の参加人数は、子供3人を含む21人でした。加藤分会長ほか数人が午後2時頃に順番取りで並びに行ってみると、すでに浴衣や甚平になんと格闘の西洋人男女(日本人含む)のグループが一番乗りしていたそうです。

今年、初参加の15群小

んから、「現場の憲法」と題して、建設関係情勢、賃金引き上げ、社保加入問題等を1時間15分学習しました。懇親会は、五十嵐支部PAL会長の乾杯の音頭で始まり、仕事・現場の現状等が出され交流しました。最後に五十嵐組織部長から「現場での拡大」が支部目標達成に欠かせないと協力の訴え、増山賃金対策部長から秋の賃金運動の前進と大手企業交渉への協力の訴えがあり閉会しました。参加者からは、「賃金・単価引き上げのチャンスというところがわかった」「後継者世代に是非聞かせたい講演だった」等の感想が寄せられ、大変好評でした。



今年はダンスで盛り上がる

林さん一家の小学生の娘さんが、AKBの影響でしょるか、ダンスの時にノリノリで踊りまくっていました。私達も、自然に肩や腰がリズムに合わせるように動きました。湾内から見たレインボーブリッジやお台場、京浜工業地帯の夜景は絶景で、一見の価値はあります。乗船したさるびあ丸5千トンは、17時15分に出航し、21時帰港でした。今年も、若い人の元気を頂いてまいりました。

## 荒川探訪

### 第3回

#### 善性寺と双葉山

取材・川又好一



双葉山の眠る穂吉家の墓

昭和40年に娘さんが亡くなり、その年に双葉山は善性寺の檀家となる。双葉山は43年に亡くなり、子供二人もその後亡くなって、奥さんは平成17年に88才で亡くなった。長男には3人の子供がいて、長女は元宝塚歌劇団77期生で「双葉美樹」と名乗り活躍した。次女は善性寺の繋がりで日蓮宗の資格をとり、双葉山が建てた大分のお寺を守り、長男は現住職の望月兼雄(もちづき・けんゆう)さんの弟子となつて、現在山梨県の日蓮宗本山久遠寺で修業中である。いずれは大分の寺で住職になるとの事だ。

## 白内障と緑内障を学ぶ

### 社会保障対策部高齢者集会



目の病気は身近な問題です

#### 【日暮里一・堀井龍二通信員】

9月15日(日)、毎年恒例の高齢者集会をおこないました。当日は、台風が来ていてあいにくの天気でしたが、参加者は29人でした。まず、支部会議室において私が講師を務めまして、「加齢性白内障と緑内障に

ついて」というテーマでミニ学習をおこないました。Q&A形式のわかりやすい資料だったので、参加者からは好評でした。白内障や緑内障の目の病気は、年齢的な視力低下に加え、身近な問題であり、取り扱ったテーマとしても良い反応がありました。

その後、送迎バスで草加健康センターへ移動し、ゆつくり温泉に入ってくつろぎました。そして、宴会で労をねぎらい、カラオケを唄ったりして交流し、楽しみました。朝は台風で風が吹くには晴れ渡り、心も洗われた気がしました。

**健康ウォーキング**  
国保組合主催

日程 11月10日(日)

受付 午前8時30分

開会式 午前9時00分

場所 交通広場

※JR西国分寺駅北口徒歩3分

対象 組合員及び家族

申込 11月7日(木)

①電話・FAXで支部へ

②東京土建国保組合のホームページから

※詳細、問い合わせは支部担当篠木書記へ。なお、車での来場は遠慮下さい。荷物預かりも用意していませんので、貴重品はじめ個人の荷物は自身で管理して下さい。雨天決行です。



# 秋晴れの下で交流

## 後継者対策部BBQ親睦会



家族で参加し、みんな笑顔に規模に対して、参加申し込みの受け付けが20人と「果たして予定規模まで集まるのか？」と心配でした。しかし、支部執行委員会での訴えに各分会の役員の方々が再度、対象者へ呼びかけをしてくれたこともあり、フタを開けてみれば大人45人、子供27人の合計72人の参加となり、予定を上回る参加者数となりました。

【後継者対策部担当・五箇谷日出雄副委員長】9月29日(日)に足立区の都立舎人公園で、後継者対策部主催のバーベキュー親睦会を開催しました。イベント提案後、9月初旬の段階で

今回は、これまでと違って参加対象を40歳代までの若手・子育て世代に限定しての開催でしたが、参加者

はお互いの年齢や世代が近いこともあり、会話も弾んでいたようでした。さらに、準備や運営、後片付けも参加者みんなで行なったことにより、参加者どうしの親睦も深めることができました。

子供向けのアソビも好評で、風船が割れすぎるハプニングもありましたが、参加したみんなが楽しんでく

## パパの分も作ったよ

### 主婦の会親子料理教室

【主婦の会・樋口多美子 通信員】9月8日、支部主婦の会主催で栄養士の先生を迎え、荒川山吹ふれあい館において親子で作るヘルシークッキングをテーマに「親子料理教室」を開催しました。

初めての取り組みでハラハラでしたが、大人22人、子供15人の合計37人の参加で定員オーバーとなり、うれしい悲鳴となりました。作った献立は、麦こがしく

タ16席、テーブル10席のこじんまりとした雰囲気、仕入れは築地市場等で絶えず鮮魚を求めているので、刺身が特に自慢です。お酒が好きな方には、南九州鹿児島産本格的な焼酎「黒霧島」が一番人気で、お薦めです。これからの季節は、カキ鍋や鳥鍋、鴨鍋、おでんもお薦めで、注文は



荒川中央通りに面して居酒屋が数件並んでいるなかの、町屋駅寄りに「居酒屋徳(のり)」があります。お店の創業は3年前で、アパレル業界から転職です。お店の名前の「徳(のり)」は、息子さんの名前から一字を拝借して決められたそうです。店内は、カウ

気さくなママのお店  
**居酒屋 徳**  
荒川区荒川4-55-8  
電話 090-8015-4818

タ16席、テーブル10席のこじんまりとした雰囲気、仕入れは築地市場等で絶えず鮮魚を求めているので、刺身が特に自慢です。お酒が好きな方には、南九州鹿児島産本格的な焼酎「黒霧島」が一番人気で、お薦めです。これからの季節は、カキ鍋や鳥鍋、鴨鍋、おでんもお薦めで、注文は



2人前でも量は3人前です。食べ物や飲物のメニューも豊富で、やさしい笑顔のママ「千恵子」さんがお待ちしています。ファミリーカード提示▼生ビール又はサワー1杯サービス  
営業時間 ※不定休  
17:00~23:00  
文・写真 角田輝夫記者  
11日暮里一分会



【編集部】仲間の文芸作品を披露する場を常時設け、可能な限り紹介していきます。随時、奮って編集部へ連絡をいただき投稿下さい。

## 荒川文芸倶楽部

### 仲間の短歌・俳句・川柳

【編集部】仲間の文芸作品を披露する場を常時設け、可能な限り紹介していきます。随時、奮って編集部へ連絡をいただき投稿下さい。



楽しくて笑顔がいっぱいで、お腹も満足に... いろいろ反省点がありました。しかし、参加した子供たちからも次回の開催希望の声もあり、準備をしっかりとってまた計画したいと思えます。

かみなりや 花火と音を 続い合い  
東尾久2分会 今野正夫

「はなつみ」  
東尾久2分会  
吉田敬子さん



まだ、よちよち歩きの子。桜の花びらを摘んでいる仕草、様子があまりに可愛くてシャッターを切りました。実は、この作品で平成25年度荒川区文化祭写真コンクールの「特選」を受賞しました。11月1日から3日間、町屋文化センター3階で展示される予定です。

今月の  
**1枚**

## インフルエンザ 予防接種を受けよう

国保組合では、年齢にかかわらず組合員・家族の方がインフルエンザの予防接種を受けたい場合、1人年度内(4/1~3/31)に1回、一律2000円を補助します。また、組合員で75歳以上の方は、どけん共済会から同額の補助があります。今年度も荒川生協診療所の協力で、集団予防接種を実施しますのでご利用下さい。尚、詳細は担当篠木書記へ。

とき・ところ・人数・ところ  
11月11日(月) 支部会館3階 先着40人  
11月29日(金) 荒川生協診療所 先着20人



安倍首相は、自らの在任中に「憲法改正」を最重要項目に位置付けているようである。その作業を安易に進行

させるために、憲法の改正にあたる第96条を改悪して、改正手続きの規則緩和という姑息な方法を強行しようとしている。そのような政治状況のなかであらためて日本国憲法を読むと、まず前文の冒頭で「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、...」とあり、私の脳内で不協和音が生じ、その先へ読み進めなくなりました。なぜか、それは「正当に選挙された」の箇所が理由である。正当な選挙とは、法の下に平等な権利の行使による選挙である。現在も一票の格差は解消されず問題となっている。一票の格差とは、権利、人権の格差である。しかし、この問題は小選挙区制という違憲の選挙制度から生じ、格差を回避はできない。昨年の衆院選について、全国で16件の一票の格差訴訟が起こされ、全てに違憲の判決が下されている。その選挙で当選した国会議員に、改憲は不可のはずだ。(且)



ひとくち映画情報

『死霊館』

ジェイムズ・ワン監督



© 2013 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC.

悪霊と心霊学者の壮絶な闘いを、実話に基づき描いたサスペンス・ホラー作品。心霊学者として著名なウォーレン夫妻の元に、ある家族から自宅を調べて欲しいという依頼が舞い込みます。数日前にその家族が引っ越してきた館では、誰もいないはずの地下室から手をたたく音が聞こえたり、一定の時刻になると家中の時計が止まった

りするなどといった不気味な現象が相次いで起こっているというのです。ウォーレン夫妻は調査を進める中で、それらの現象が悪霊の仕業であること突き止めますが、事態は徐々にエスカレート。ついにその魔の手は、一家の子どもたちを襲い始めます。果たして夫妻は、悪霊から子どもたちを守ることができるのか。10月11日全国ロードショー。



にこやかに話していただいた稲垣さん 小林一心堂は創業が慶応3年で、徳川幕府出入りの兜師でした。時代は明治に変わり、剣道具作りへと転業して、初代小林富次郎が25歳の頃に神田松富町（現在の末広町）に剣道具商として店を開きました。二代目となる小林富次郎は、初代の長男

として明治18年に生まれ、福太郎と命名されました。福太郎は内弟子の職人たちと同じように修業させられ、見事な技を身につけました。 二代目直伝の 伝統と経験実績 大正7年に初代が亡くなり、38歳で福太郎は二代目小林富次郎として店主の座につきましました。福太郎は剣



小林 一心堂 受け継がれる職人の魂 伝統を守り、安全で丈夫な防具を提供 剣道具、武道具全般を取り扱い、すべての修理は代々の技術を受け継ぎ、アフターサービスは万全。初心者から、経験者の修理、道具買い替えまでいねいに対応している、有限会社小林一心堂の代表で四代目店主の稲垣禮子（旧姓小林）（いながき・れいこ）さんを訪ね、お話を聞きました。（荒川区町屋1-2-13） 文・写真 並木義男記者 川又好一記者 日暮里一分会



全面修理された防具

道が好きで、中山博道先生の有信館に入門し、かなりの腕前にまで達しました。二代目の作る道具は使い良さに定評がありました。特に、中山先生は「小林の籠



技術が要求される籠手の修理作業

れていて、インターネットによる価格の比較で来店される客も多いと言います。しかし、籠手は一番傷むところで、修理は大変手間もかかります。そして、技術を引き継ぐ後継者を育てるのが大変だと話し、現在は後継者は不在ということです。

伝統武道の 発展普及に寄与

手は、天下一品」と賞讃していました。小林一心堂では、手縫いで一から仕上げまで自前で行っています。昭和7、8年頃の事で、知人から「時間も費用も、幾らかかっても構わないから、後世に残る道具を作らないか」と話があった。鹿革を染めては気に入らないと、胴の胸を作ってはあわぬと壊してしまい、2年をかけて製作した防具は今、上野の東京国立博物館他に保管されています。 二代目小林富次郎の長男の力之助は、三代目の小林富次郎を受け継いで、そして、現在の店主四代目稲垣禮子（旧姓小林）さんも昔ながらの伝統技法を継承しています。胴の内側は竹で編み、漆を何度も重ね塗りして仕上げますが、最近では安価のプラスチック製中国産が多量に輸入さ



初心者から経験者向け高級品まで豊富な品揃え

白色申告者の 記帳義務化に向けた記帳学習会

2014年1月からの白色申告の事業者に対する、記帳義務化に向けた学習会を開催します。詳細、問い合わせは支部担当姫路書記迄。

- と き 11月15日(金) 19時00分～
場 所 支部会館 3階会議室
講 師 本部税金対策担当 村本書記
定 員 先着30人



周辺環境とけやきが馴染む

悪くバラツキがあり、街路樹としては貧相である。もしかしたら、この辺りがユニチカの紡績工場だったことが街路樹の生長に影響しているのかもしれない。 文・写真 竹達浩記者 根本武義記者 荒川区 南千住分会

「けやき通り」と「とちのき通り」は、昭和62年以降の南千住駅と旧汐入地区を中心とした、白鬚西再開発に伴い整備された通りで、歴史の浅い通りである。東京都の都市計画によって、街路樹がそれぞれ「けやき」と「とちのき」が植樹されたことから、平成13年に地元から要望で通り名がついた。

大級の都立汐入公園に隣接して、特に「けやき通り」のけやきは周辺の高層マンションと調和し、近代感を醸し出している。しかし、「とちのき通り」は、225mと距離も短く、柵の生長が悪くバラツキがあり、街路樹としては貧相である。もしかしたら、この辺りがユニチカの紡績工場だったことが街路樹の生長に影響しているのかもしれない。 文・写真 竹達浩記者 根本武義記者 荒川区 南千住分会



けやき&とちのき通り (南千住) 22



もの寂しい街路樹

